**2025年度　共同利用・共同研究拠点「地球掘削科学国際研究拠点（JURC−DES）」**

**（A）共同利用・（B）共同研究（機器利用型） 申請書（随時申請）**

提出年月日　　　　年　　月　　日

1. 申請者情報

|  |  |
| --- | --- |
| 1. （ふりがな） |  |
| 2. 申請者氏名 |  |
| 3. 性別 | いずれかにチェック　[ ] 男　[ ] 女　[ ] 回答しない |
| 4. 所属 ※1 |  |
| 5. 職名/利用時学年 |  |
| 6. 年齢層 | いずれかにチェック　　[ ] 35歳以下　[ ] 36歳−39歳　　[ ] 40歳以上　 |
| 7. ORCID iD ※2 |  |
| 8. 連絡先住所 | 〒 |  |  |
| 9. Tel |  |  |  |
| 10. E-mail ※3 |  |

* 申請者が大学院生の場合は指導教員について記載して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 11. 指導教員氏名 |  | 12. 所属及び職名 |  |
| 13. ORCID iD※2 |  | 14. E-mail |  |

※1所属は略さずに正式名称を記載して下さい。　※2 ORCID iD未取得の場合は空欄

※3課題が採択された場合、事務局から連絡のためメーリングリストに登録させていただきます。

1. 申請情報

1．応募種目　[ ]  A共同利用　[ ]  AY共同利用（若手）

　[ ]  B共同研究（機器利用型）　[ ]  BY共同研究（機器利用型）（若手）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2. 区分 | [ ]  新規 | [ ]  継続　　　　　◎同じ研究課題名で引き続き利用申請する場合を【継続】とします。 |
| 継続課題の場合，該当する過去の採択課題番号： |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 3. 研究分野◎①から⑤から1つ選択して下さい。 | [ ]  ①. 国際深海科学掘削計画（IODP）および国際陸上科学掘削計画（ICDP）に関わる地球掘削科学に関する研究[ ] 　②. IODP/ICDP以外の地球掘削科学に関する研究[ ]  ③. 地球惑星科学に関する基礎研究[ ]  ④. 海底エネルギー・鉱物資源に関する研究[ ]  ⑤. 地球惑星科学・生命科学など分野横断型研究 |
| 4.研究課題名 | (和) |
| (英) |
| 5.研究所所属共同研究者（代表者のみ）◎応募種目BとBYは記載して下さい。◎代表者以外は下記の7の欄に記載して下さい | 氏名 | 分担事項 |
|  |  |
| 6. 研究組織（申請者および分担者の分担事項）※1 |  | 氏名（所属・職名／利用時学年） | 性別 | ※2 | ※3 | 分担事項 |
|  | 申請者 |  |  |  |  |
| ② |  |  | [ ]  | [ ]  |  |
| ③ |  |  | [ ]  | [ ]  |  |
| ④ |  |  | [ ]  | [ ]  |  |
| ⑤ |  |  | [ ]  | [ ]  |  |
| ⑥ |  |  | [ ]  | [ ]  |  |
| ⑦ |  |  | [ ]  | [ ]  |  |

※1) 研究所利用者全員の氏名を分担者として当該欄に必ず記載して下さい。7名を超える場合は行を追加して下さい。採択後に追加・変更を行う場合は，研究所連絡担当者または共同研究者に相談の上，変更申請書を事務局まで提出して下さい。

※2）2025年4月1日時点で35歳以下の場合はチェックを入れて下さい。

※3）2025年4月1日時点で36歳から39歳の場合はチェックを入れて下さい。

1. 利用する機器・設備

◎下記の一覧にない共同利用機器は別途『主要設備一覧』を確認し，㊳その他の機器欄に記載して下さい。
『主要設備一覧』: https://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/share/pdf/facility\_jurc-des.pdf

注1） 主要機器一覧を参照して**「機器担当者」と事前に打合せを必ず行って下さい**。

注2） RI・X線分析装置を申請者・分担者が操作するためには，別途手続き等が必要です。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 機器名（利用頻度の高い機器のみ）　**※はRI・X線分析装置** | 操作可 | 実験室 |
| ① | [ ]  サンプリング台 | [ ]  | サンプリング室 |
| ② | [ ]  マルチセンサーコアロガー（MSCL-S）※ | [ ]  | コアロギング室 |
| ③ | [ ]  X線CTスキャナ※ | [ ]  |
| ④ | [ ]  XRFコアスキャナ（TATSCAN）※ | [ ]  |
| ⑤ | [ ]  X線回折装置（XRD）※ | [ ]  | X線分析・電子顕微鏡室 |
| ⑥ | [ ]  蛍光X線分析装置（XRF）※ | [ ]  |
| ⑦ | [ ]  マイクロフォーカスX線CTスキャナ（Xradia）※ | [ ]  | 地球化学実験室 |
| ⑧ | [ ]  XRFコアスキャナ（ITRAX）**【様式AB1別添も提出のこと】**※ | [ ]  |
| ⑨ | [ ]  コア連続画像撮影装置（コアスキャナ） | [ ]  | コアロギング室 |
| ⑩ | [ ]  ビードサンプラ（卓上型） | [ ]  | 岩石試料処理室 |
| ⑪ | [ ]  マッフル炉 | [ ]  |
| ⑫ | [ ]  研磨装置類（平面研磨機，薄片研磨装置，精密薄片研磨機） | [ ]  | 石工室 |
| ⑬ | [ ]  岩石カッター類（大型切断用鋸，中型切断用鋸，小型切断用鋸） | [ ]  |
| ⑭ | [ ]  パススルー型超伝導岩石磁力計 | [ ]  | 古地磁気・岩石磁気実験室 |
| ⑮ | [ ]  個別試料型超伝導岩石磁力計 | [ ]  |
| ⑯ | [ ]  熱消磁装置 | [ ]  |
| ⑰ | [ ]  交流消磁装置 | [ ]  |
| ⑱ | [ ]  スピナー磁力計 | [ ]  |
| ⑲ | [ ]  磁気天秤 | [ ]  |
| ⑳ | [ ]  磁気特性測定装置（MPMS） | [ ]  |
| ㉑ | [ ]  振動型磁力計（VSM） | [ ]  |
| ㉒ | [ ]  パルス磁化噐 | [ ]  |
| ㉓ | [ ] 自動交流消磁スピナー磁力計（DSPIN） | [ ]  |
| ㉔ | [ ]  多機能磁化率異方性測定装置 | [ ]  |
| ㉕ | [ ]  ペンタピクノメーター | [ ]  | 堆積実験室 |
| ㉖ | [ ]  安定同位体分析システム（MAT253） | [ ]  | 無機地球化学実験室 |
| ㉗ | [ ]  安定同位体質量分析計（IsoPrime） | [ ]  |
| ㉘ | [ ]  レーザー粒度分布測定器 | [ ]  |
| ㉙ | [ ]  ガスクロマトグラフ（GC） | [ ]  | 有機地球化学実験室 |
| ㉚ | [ ]  CHNS/O元素分析装置（Flash EA） | [ ]  |
| ㉛ | [ ]  高速溶媒抽出装置（ASE） | [ ]  |
| ㉜ | [ ]  高速自動濃縮装置（ターボバップ） | [ ]  |
| ㉝ | [ ]  加熱脱着装置付ガスクロマトグラフ質量検出器（GC-MSD） | [ ]  |
| ㉞ | [ ]  元素分析オンライン質量分析計（EA-IRMS） | [ ]  |
| ㉟ | [ ]  電界放出形走査型電子顕微鏡（FE-SEM） | [ ]  | X線分析・電子顕微鏡室 |
| ㊱ | [ ]  電子プローブマイクロアナライザー（EPMA） | [ ]  | 分光分析室 |
| ㊲ | [ ]  二重収束型高分解能ICPマルチコレクタ質量分析計（NEPTUNE） | [ ]  | ICP質量分析室 |
| ㊳ | [ ]  ICP質量分析計（iCAP Q ICP-MS） | [ ]  |
| ㊴ | [ ]  コア半裁機 | [ ]  | 工作室 |
| ㊵ | [ ]  その他機器（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）＊機器名の後に（）内に操作の可否を記入のこと |
| 今回の申請にあたって事前相談した担当者 |
| [ ]  池原実 | [ ]  岩井雅夫 | [ ]  氏家由利香 | [ ]  浦本豪一郎 | [ ]  奥村知世 | [ ]  山本裕二 | [ ]  松崎琢也 |
| [ ]  上田忠治 | [ ]  岡村慶 | [ ]  西尾嘉朗 | [ ]  村山雅史 | [ ]  加藤悠爾 | [ ]  佐藤哲郎 | [ ] その他（　　　　） |
| 利用希望期間記入例2025年4月～2025年9月に5日間2026年1月～2026年2月で日数未定 | 希望期間1 | 202 年 月 ～ 202 年 月に 日間 |
| 希望期間2 | 202 年 月 ～ 202 年 月に 日間 |
| 希望期間3 | 202 年 月 ～ 202 年 月に 日間 |
| 希望期間4 | 202 年 月 ～ 202 年 月に 日間 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. 物質名（採取地や航海名等も記載） | 2. 形態（形状・大きさ等） | 3. 試料数 | 4. 所有権者※1 | 5. 所有権者の使用許諾 |
|  |  |  |  | [ ]  該当なし[ ]  許諾済[ ]  その他（　　　） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ※1) 組織が所有権者の場合は，組織名を記載して下さい（例：JAMSTEC，NSF等）。 |
| 6. 法令等の遵守の義務 | [ ]  該当なし [ ]  該当あり | （補足説明） |
| ※該当ありの場合は，下記法令等を遵守する義務の別について記入して下さい。 |
| 法令等を遵守する義務の別

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| [ ]  ワシントン条約関連 | [ ]  天然記念物関連 | [ ]  特別保護地区関連 |
| [ ]  生物多様性条約関連 | [ ]  植物防疫法関連 | [ ]  その他（　　　　　　） |

 |

1. 分析試料の情報

|  |  |
| --- | --- |
| 7. 試料の一時保管 | 試料の一時保管希望　[ ]  無　　[ ]  有（下記に理由を記入） |
| 理由： |
| 申請期間終了後所有権を譲渡　[ ]  可　　[ ]  否 |

◎コア試料の一時保管を希望される場合は，試料搬入前に「保管庫利用申込書」の提出をお願いします。

詳細につきましては，学術コアリポジトリ運用室にお問合せ下さい。

1. 持込品に関する情報

|  |
| --- |
| 装置・器具・薬品類の持込の有無　[ ]  該当なし　[ ]  持込品あり　　 ※「持込品あり」の場合は，以下のaからcを記入して下さい。 |
| a. 装置・器具類

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 装置名 | 仕様（メーカー，型番など） | 安全対策 |
|  |  |  |

b. 安全に関する手続きが必要な物質

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| [ ]  該当なし |  |  |
| [ ]  国際規制物資 | [ ]  放射性物質 | [ ]  毒物・劇物等薬品類 |

c. 上記bに該当する物質について，下欄に詳細を記載して下さい。

|  |
| --- |
| ※物質名・形態（形状）・量・性質・使用目的・保存及び処理方法・安全対策 |

 |

1. 随時申請する必要性および緊急性

|  |
| --- |
| 学術的な重要性や教育的配慮などを勘案した必要性および直前の提出期間に申請できなかった理由、次回の提出期間まで申請を待てない理由を含めた緊急性 |
|  |

1. 研究について

|  |
| --- |
| 研究の意義，目的，特色，期待される成果（継続の場合は，これまでの成果や途中経過に言及して下さい。） |
|  |

|  |
| --- |
| 上記目的を達するための本申請の位置づけ |
| （『3. 利用する機器・設備』で使用を申請した機器に関連付けて記入して下さい。） |
|  |

1. 申請に関する関連情報または、その他業績や論文（過去5年度間：2020～2024年度）

|  |
| --- |
| 1.申請者および分担者が公表した本申請研究課題に関係する代表論文（過去5年3編以内）関連する論文等が無い場合は、その他業績や論文（過去5年3編以内） |
|  |
|  |
|  |

|  |
| --- |
| 2. 過去5年度間の共同利用・共同研究課題のうち，関連する利用実績 |
| 関連する共同利用・共同研究課題の採択実績　　　[ ]  無　　　[ ]  有※「有」の場合，下記について記入して下さい。 |
|  ＜採択された研究課題（直近5件まで）＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 採択番号 | 研究課題 |
| （1） |  |  |
| （2） |  |  |
| （3） |  |  |
| （4） |  |  |
| （5） |  |  |

 |
| ＜研究成果の報告状況＞ |
| 採択された研究課題を実施して得れた成果（原著論文発表，レビュー等原著論文以外による発表，口頭発表，卒業論文・修士論文・博士論文等）の公表状況について※課題審査の参考にいたしますので，正確に記載をお願いいたします。[ ] 　公表された成果をすべて事務局に報告済（論文のうち謝辞に採択課題番号の記載のあるもの　　　編，無いもの　　　編）※共同利用・共同研究拠点の評価において，謝辞に採択課題番号の記載を含む論文（原著論文発表，レビュー等原著論文以外による発表，卒業論文・修士論文・博士論文等）のみが成果として認められます。[ ] 　未報告（**研究成果登録フォーム**を速やかに事務局まで提出して下さい。）[ ] 　現時点で公表された成果なし□　共同利用・共同研究成果発表会での発表状況 (発表年度にチェックを入れて下さい。)　（[ ]  2020 年度 [ ]  2021年度 [ ]  2022年度 [ ]  2023年度 [ ]  2024年度）※毎年度末に高知大学海洋コア国際研究所にて共同利用・共同研究成果発表会を開催しており、採択課題の研究成果報告を推奨しています。 |

|  |
| --- |
| 3. 他公募での採択状況 |
|  |

※採否の審査の参考にしますので，当該研究課題に係る競争的資金や公募型プロジェクト等の採択状況を記載して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 4. コアスクール参加経験 |  |  |
| [ ]  コア解析基礎コース | [ ]  コア同位体分析コース | [ ]  古地磁気コース |
| [ ]  その他（　　　　　　　　　　　　　　コース） | [ ]  参加経験なし |